

会議結果報告

会議名称	令和2年度第3回富田林市障がい者施策推進協議会
会議日時	令和3年2月
委員	的場政一（会長）、端山弘明（副会長）、草尾勝司、宮田重樹、宋連玉、梅澤憲文、吉海弘幸、泉尾正彦、吉田薫、原智義、飯田昭夫、宮崎幸美、佐野朋慶、阪口勉、丸山奈緒（オブザーバー）
審議案件	（案件1）第6期富田林市障がい福祉計画・第2期富田林市障がい児福祉計画について （案件2）令和元年度富田林市障がい者計画実績報告
審議方法	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面会議による審議。 委員に対し案件資料及び意見書を郵送等により配布し、委員は資料を確認・審査の上、意見書を提出。
審議結果	（案件1）第6期富田林市障がい福祉計画・第2期富田林市障がい児福祉計画について 表決 ●「第6期富田林市障がい者計画・第2期障がい児福祉計画（素案）」を正式に本市計画とすることについて、全会一致で承認。 意見等 ●（2）地域生活支援事業①必須事業（ア）相談支援事業等の自発的活動支援事業には是非家族会活動支援を加えてください。特に精神障がい者の回復には家族のSST（家族教育）が必須条件です。 ●発達障がい児（者）は、ずっと以前から、親達が色々と研究し取り組まれていましたが、なかなか難しいところがありますが、市として正式に計画して欲しいと思います。 ●富田林歯科医師会では、在宅ケアステーションを設置して、訪問診療や訪問口腔ケアの相談や依頼をうけています（現在は引越時の回線トラブルで電話がつかないですが、3月には番号をお知らせ出来ます）。健康相談時にアナウンスしていただけますようよろしくお願いいたします。
（案件2）令和元年度富田林市障がい者計画実績報告	
意見等	●教育現場での取り組みについて 障がいのある事を、学校に申告されず見過ごし、義務教育終了後、社会に出て困っているケースが多く見られる。先生方の見抜く力の養成、保護者への説得し適切な指導が求められる。教育委員会の取り組みが必要と思われる。

●障がい者計画については、数十年前から比べて、現在では、障がい者福祉が充実していることが、ありがたく思います。

市のたて割り事業でなく、教育委員会と福祉課とが協議できることで、保育園児、幼稚園児等が一つになって考えられることがありがたいと思います。

今後も、障がい児（者）が地域で、あたりまえの生活ができる様、よろしく願いします。